

平成21年国東市消防団出初式



平成21年の新春を飾る国東市消防団(池田一彌団長・1,028人)の出初式が、1月11日(日)午前9時から国東陸上競技場で行われました。北からの風が吹きつけ、時折雪の降る寒さの中、池田団長をはじめ市内4つの方面隊から408人の消防団員が出動し、終始きびきびした規律ある動作で各種の点検を受けました。



池田団長の人員報告に続き、野田侃生市長・高木正史副市長や来賓の皆さんが中隊毎に団員の服装などを点検した後、国東方面隊(指揮者・清成隆第9分団長)・安岐方面隊(指揮者・植田稔第13分団長)による停止間、国見方面隊(指揮者・竹野章一第4分団長)・武蔵方面隊(指揮者・栗林和成第12分団長)による行進間の小隊訓練点検が行われました。続いて、第3分団第1部・第8分団第3部・第10分団第2部・第15分団第1部による小型ポンプ操法、第15分団第3部によるポンプ車操法の点検が行われました。

団員の皆さんが日ごろの訓練の成果をいかに発揮し、会場に訪れた皆さんから大きな拍手が送られました。

池田団長を先頭に分列行進をした後、野田市長の講評があり、消防活動に貢献のあった皆さんに対しての表彰がありました。大分県知事代理の橋本讓司県生活環境部審議監、岩屋毅衆議院議員、小野弘利、三浦公



両県議会議員、足立正人国東警察署長、諸富忠市議会議長が祝辞を述べた後、受賞者を代表して川上鉄之助第3分団分団長が謝辞を述べました。

木戸昌夫区長会長の万歳三唱、植田旨夫消防長による火の用心三唱の後、会場を野球場に移して放水点検が行われ点検のすべてを終了しました。

点検会場には、大勢の皆さんが見学を訪れ、消防団員の士気旺盛な規律ある動きに終始真剣に見入っていました。

